

富山高等専門学校	開講年度	令和05年度(2023年度)	授業科目	科学技術日本語 I
科目基礎情報				
科目番号	0017	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気制御システム工学科	対象学年	1	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	『科学技術基礎日本語：留学生・技術研修生のための使える日本語』(凡人社)・理系科目の教科書			
担当教員	河合 恒			
到達目標				
1. 理数系科目の必須用語の習得する 2. 理数系科目特有の用語を正しく読んで理解し、問題を解くことができる				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	既習用語を習得している	既習用語をおおむね習得している	既習用語を習得していない	
評価項目2	既習用語を正しく理解し、運用できる	既習用語を理解し、おおむね運用できる	既習用語を理解しておらず、運用することができない	
学科の到達目標項目との関係				
ディプロマポリシー DP1				
教育方法等				
概要	1. 理数系の科目に対応する日本語の基礎部分の育成を目指す 2. 2学次以降のより高度な理数系専門用語への接続を目指す			
授業の進め方・方法	1. 教科書をベースとし、対応する問題を解きながら理数系科目の基礎用語を幅広く学ぶ 2. 用語や使用例の確認を随時しつつ、実践的な運用ができるようにする 3. 理数系科目で必要となる漢字の学習も同時に進める			
注意点	1. 毎回の課題を必ず提出すること 2. 復習を心がけること			
授業の属性・履修上の区分				
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/>	実務経験のある教員による授業
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	【第1部 数・式・図形】①	
		2週	【第1部 数・式・図形】②	
		3週	【第1部 数・式・図形】③	
		4週	【第1部 数・式・図形】④	
		5週	【第1部 数・式・図形】⑤	
		6週	【第1部 数・式・図形】⑥	
		7週	【第1部 数・式・図形】⑦	
		8週	【第1部 数・式・図形】⑧	
	2ndQ	9週	【第1部】総復習	
		10週	【第2部 動作・操作をあらわす表現】①	
		11週	【第2部 動作・操作をあらわす表現】②	
		12週	【第2部 動作・操作をあらわす表現】③	
		13週	【第2部 動作・操作をあらわす表現】④	
		14週	【第2部 動作・操作をあらわす表現】⑤	
		15週	【第2部 動作・操作をあらわす表現】⑥	
		16週	【第2部 動作・操作をあらわす表現】⑦	
後期	3rdQ	1週	【第2部 動作・操作をあらわす表現】⑧	
		2週	【第2部 動作・操作をあらわす表現】⑨	
		3週	【第2部 動作・操作をあらわす表現】⑩	
		4週	【第2部】総復習	
		5週	【第3部 性質・状態・変化をあらわす表現】①	
		6週	【第3部 性質・状態・変化をあらわす表現】②	
		7週	【第3部 性質・状態・変化をあらわす表現】③	
		8週	【第3部 性質・状態・変化をあらわす表現】④	
	4thQ	9週	【第3部 性質・状態・変化をあらわす表現】⑤	
		10週	【第3部 性質・状態・変化をあらわす表現】⑥	
		11週	【第3部 性質・状態・変化をあらわす表現】⑦	
		12週	【第3部 性質・状態・変化をあらわす表現】⑧	
		13週	【第3部 性質・状態・変化をあらわす表現】⑨	
		14週	【第3部】総復習	
		15週	1年間の総復習(1)	
		16週	1年間の総復習(2)	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験	平常点（課題・授業参加度）	合計	
総合評価割合		70	30	100	
基礎的能力		35	15	50	
専門的能力		35	15	50	